

「特別の教科 道徳」 第1学年 年間指導計画

学校の教育目標	心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人
学年の重点項目	B(6)思いやり、感謝

月	主題名	内容項目	資料名	ねらい	展開の大要(基本発問・中心発問)	私たちの道徳
4	よりよい自己の追求	—	一年間で学ぶこと	理想を求め、積極的に力強く人間らしい誠実な生き方を求めようとする道徳的心情を育てる。	【基本発問1】この詩の作者が伝えたいのはどのようなことだろう。 【中心発問】拓哉はどうしたらよいだろう。自分の考えを書こう。できれば理由も書こう。	P4
	あいさつを交わして	B・(7)	朝市の「おはようございます」	相手の人格を認め、相手に対して尊敬や感謝などの気持ちを具体的に示すことの意義を理解し、進んで礼儀を身につけようとする心情を育てる。	【基本発問1】どのような人たちが登場したか。また、どのような話か。 【基本発問2】小学生の男の子や子供たちが、見知らぬ作者にあいさつをしたのはなぜだと思うか。 【中心発問】あいさつは、なぜ大切なのだろう	P10-12
5	義務について考えよう	C・(10)	選手に選ばれて	リレー選手の選出についてのA君と他の生徒との主張の違いから、権利と義務の関係を多面的・多角的に捉え、集団の一員であることを自覚し、自分の考えを正しく主張するとともに主体的に義務を果たそうとする心情を育てる。	【基本発問1】クラスのみんなは、どのような気持ちで「出ない」ということは勝手すぎませんか。」と言ったのだろう。 【基本発問2】A君は、どのような気持ちで「出たくないから出ない。」と言ったのだろう。 【基本発問3】「選ばれた以上、クラス全員の代表として出場する義務がある。」というみんなの意見を、どのように思うか。 【中心発問】集団生活の中で、果たすべき義務について、なやんだり困ったりしたことはあるか。	P13-15
	自分との付き合い方を考えよう	A・(3)	自分の性格が大嫌い!	「自分との付き合い方」を大切にしようとする作者の考えに共感し、自分の持っているよさや個性の発見に努め、それを肯定的に捉え、伸ばしていこうとする意欲を育てる。	【基本発問1】作者は、自分の欠点や性格をどのように考えているのだろう。 【基本発問2】作者は、自分の短所や長所をどのように見ることが大切だと思うのだろう。 【基本発問3】「自分との付き合い方」を覚えると、人生が楽になるのはどうしてだろう。 【中心発問】あなたの短所はどのようなところだろう。また、その短所はどのようなところで役立っているだろう。	P16-19
6	安全な生活のために	A・(2)	山に来る資格がない	登山中の出来事を通して、節度と節制に心がけ、望ましい生活習慣を進んで身につけようとする心情を育てる。	【基本発問1】今回の登山の計画はどのようなものだったか。 【基本発問2】5人が、寝る時間を選ぶ理由を考えて、何度も先生にお願いしたにもかかわらず、先生が「よし」と言わなかったのはなぜか。 【中心発問】「山に来る資格がない。」という発言について、考えてみよう。	P34-37
	安全な生活のために	A・(2)	もし、あの日にもどれるのなら	先生に、寝る時間を選ばないと言った理由を考えている5人を説得する場面を役割演技することを通して、節度と節制に心がけ、望ましい生活習慣を進んで身につけようとする態度を育てる。	【基本発問1】もし、あなたが「寝る時間をおそくすることを先生にお願いする理由」について話し合っている場面に行けるとしたら、ほかのメンバーを説得するために何を言うか。そのせりふと理由も考えて書こう。 【中心発問】あなたは③で考えたせりふで、それ以外の人は、教材中のせりふで演じよう。ほかのメンバーを説得するには、どのような工夫や注意が必要だろうか。気づいたこと、感じたことを書こう	P38-39
7	友達とともに	B・(8)	班での出来事	友人関係についての話し合いを通して、異性への理解を深め、互いの個性を尊重し、ともに成長することのできる深い友情を構築していこうとする態度を育てる。	【基本発問1】この班はどのように男女の意見が合わず、まとまりがなかったのだろう。 【基本発問2】友達とともに成長していくためには、どのようなことが必要だろう。 【中心発問】班のメンバーが仲良くなっていったのは、おたがいにとってどのようなことが理解できたからだろう	P40-43
	働くてどんなこと?	C・(13)	新しいプライド	自分の仕事にやりがいを感じながらも誇りが持たず、人には隠しながら働いて「私」が、誇りを持って働くようになる姿を通して、勤労の尊厳や意義を理解し、社会に貢献しようとする態度を育てる。	【基本発問1】掃除の仕事をしていることを、誰にも知られなくなかったのはなぜか。 【基本発問2】夫の弟やその妻に、掃除の仕事をしているところを見られてしまったとき、「私」はどのような気持ちだったのだろう。 【中心発問】「お掃除の仕事をしていることだけは、だれにも知られなくなかった」私が、仕事に誇りをもてるようになったのは、どうしてだろう。	P44-47
	ボランティア活動に参加して	C・(12)	楽寿号に乗って	作者がボランティア活動で体得した社会参画への意識について話し合い、ボランティア活動の意義を理解し、進んで人々のために尽くそうとする意欲や態度を育てる。	【基本発問1】作者はボランティア活動を行っているとき、どのような気持ちだったのだろう。 【基本発問2】ボランティア活動に参加するときには、どのような心構えが大切だろう。 【中心発問】作者が、「これからは進んでボランティア活動に参加したい。」と考えるようになったのは、なぜだろう。	P48-51
	ふるさとのために	C・(16)	ぼくのふるさと	ふるさとを愛し、ふるさとのためにできることをしたいと願う作者に共感することで、郷土意識を深め、進んで地域の発展に努めようとする態度を育てる。	【基本発問1】串原村のお年寄りが、村を離れたがらないのはどうしてだろう。 【基本発問2】ふるさとのために自分ができることを書こう。 【中心発問】作者が、「大人になっても串原村で働き、村の発展のために努力していきたい。」と考えたのはなぜだろう。	P52-54
8	心に郷土を刻もう	C・(16)	郷土を彫る	伝統工芸士広川さんとの出会いから、郷土への思いを深める「私」に共感し、郷土の伝統を大切に、郷土に尽くした先人に尊敬の念を深め、郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	【基本発問1】「私」の郷土への負のイメージを、大切に思う気持ちへと転換させたものは何だろう。 【基本発問2】郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときだろう。 【中心発問】広川さんが『私の宮島彫りは日本一だ。』という自信があるのだよ。」と語っているのは、どのような思いからだろう。	P66-69
	だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して	C・(10)	ごみ箱をもっと増やして	街の中にごみ箱を増やすかどうかの話し合いを通して、公德心について理解を深め、だれもが気持ちよく生活できるよりよい社会の実現のために努めようとする態度を育てる。	【基本発問1】街の中のごみ箱について、気がついたことや困った経験をしたことはないか。 【基本発問2】だれもが気持ちよく生活ができる、よりよい社会にするために、ルールやきまりはどのようなべきか、考えよう 【中心発問】日本のごみ箱を増やすことに賛成か反対かについて、その理由もふくめて考えてみよう	P71-73
9	いじめのない世界へ	B・(9)	いじめに当たるのはどれだろう	いじめに当たる行為や判断の根拠について考えることを通じて、人にはいろいろな見方や考え方があることを理解し、相手の立場や個性を尊重しようとする態度を育てる。	【中心発問】いじめに当たるのはどれだろう。	P22-24
	いじめのない世界へ	B・(9)	傍観者でいいのか	傍観者の視点から「いじめ」について考えることを通じて、人間の弱さを克服し、自らの意志や判断で責任ある行動をしようとする態度を育てる。	【基本発問1】どうしてこのような状況になったのだろう。 【中心発問】いじめが続いたり、広がっていったのは、「いじめ人」だけでなく、いじめを「はやし立てる人(観衆)」や、「見て見ぬふりをする人(傍観者)」がいるからである。「見て見ぬふりをする」のはどうしてだろう。	P25-27
	いじめのない世界へ	B・(9)	いじめのない世界へ	いじめに関係する人物やその周囲の人の心情を考えることを通じて、物事をさまざまな角度から総合的に考察し、そこに内在する道徳的価値を見極めようとする意欲や態度を育てる。	【基本発問1】「私」はサオリのどのようなところを悪いところだと思っているのだろう。 【基本発問2】「自慢げ」「ぶりっ子」という「私」のサオリに対する評価についてどう思うか。 【中心発問】「私」がどうもモヤモヤしているのはどうしてだろう。	P28-32
10	いのちを考える	D・(19)	あなたはひかり	「あなたはひかり 輝く地球の 一粒のひかり」という言葉をもとに、自分自身のいのちについて多面的・多角的に考え、「いのち」の大切さを自覚し、前向きに生きようとする態度を育てる。	【基本発問1】作者は、「あなたはひかり 輝く地球の一粒のひかりだ」と言っています。次の言葉に続けて、その理由を書いてみよう。 【基本発問2】①で書いた言葉を発表し合おう。友達が発表した中で、心に残った言葉をメモしておこう。 【基本発問3】これから、自分の「いのち」をどのような形にしていきたいか。また、そう考える理由や、もったかやがらせるために大切にしていきたいことを書こう。 【中心発問】中学1年生の「あなた」にとって、「いのち」を形で表すと、どのような形になるか。そう考える理由も書こう	P56-57
	いのちを考える	D・(19)	いのちって何だろう	「いのちって何だろう」という作者の問いについて考え、「いのち」とは何か、その尊厳を守るためにどのように考えていくかについて理解を深め、かけがえのない「いのち」を大切にしようとする心情を育てる。	【基本発問1】死について、作者が「自分も無縁じゃない」と感じたのは、なぜだと思うか。 【基本発問2】①②で考えたことをふまえて、あなたはこれからのいのちをどのように生きるだろう。 【中心発問】なぜ、いのちは自分の勝手にはならないのだろう。	P58-60
	いのちを考える	D・(19)	決断! 骨髄バンク移植第一号	悩みながらも自分の骨髄を提供した田中さんの姿から、人が互いに支え合って生きていくことの大切さを理解し、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。	【基本発問1】白血球の型が一致することを聞き、田中さんがすぐに「提供します。」と答えたのはどうしてだろう。 【基本発問2】移植のための検査が始まってからの田中さんの迷う気持ちを考えてみよう。 【基本発問3】田中さんが、ついに骨髄を提供する決心を固めたことをどう思うか。 【中心発問】田中さんと橋本さんが、がっしりと手をにぎり合い、固い握手をしてほしい、確かめ合ったことは、どのようなことだろう	P61-65
	よりよいクラス活動を目指して	C・(15)	全校一を目指して	空き缶回収活動の問題点について話し合い、集団の一員としての役割と責任の自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めようとする意欲と態度を育てる。	【基本発問1】1年C組の取り組みに対して反対意見があった中で、みんなに「やろう!」と思わせたものは何だろう。 【基本発問2】真実の言葉を聞いて、圭司と悟が黙りこんでしまったのはなぜだろう。 【基本発問3】学級などの集団での活動をよりよくするために、どのようなことが大切だろう。 【中心発問】圭司と悟に欠けていた考えとは、どのようなことだろう。	P74-79
11	いきいきとかがやいて	C・(13)	「看護する」仕事	宮原さんがいきいきと輝いて働いている姿を通して、働くことの喜びは生きがいとなることを理解し、自分の将来の生き方について考えを深めようとする態度を育てる。	【基本発問1】宮原さんの仕事に対して、どのような印象や感想を持ったか。 【基本発問2】人がいきいきとかがやいて働くために必要なことは、どのようなことだろう。 【中心発問】どのような喜びがあるから、宮原さんはこの仕事を一生続けていこうと思っているのだろう。	P80-84
	その人が本当に望んでいること	B・(6)	その人が本当に望んでいること	教材の場面を役割演技することを通して、相手の立場や気持ちを考え、思いやりを持って接しようとする意欲を育てる。	【基本発問1】かたづけをしなかったことで家でしかられ、学校でしゅんとしている由紀さんに、香さんやクラスのほかの友達とは、今後どうするのがよいのかを考えて書こう。 【基本発問2】①で書いたことをもとに、3人のグループで話し合おう。 【基本発問3】感じたことや気づいたことを書いて、発表しよう 【中心発問】由紀さん、香さん、クラスのほかの友達に役に分かれて、演じよう	P86-87
その人が本当に望んでいること	B・(6)	思いやりの日々	障がいを持つ人と関わった主人公の気持ちを考えることを通じて、本当の思いやりとは何かを理解し、温かい人間愛を深め、だれに対しても思いやりの心を持ってともに生きようとする心情を育てる。	【基本発問1】なぜ、和威さんは喜美世さんに何でもしてあげようとしたのだろう。 【基本発問2】和威さんが、「私も、手伝おうから。」と言った喜美世さんに対して、「ぼくが全部やるから。」と断ったことをどう思うか。 【基本発問3】「私も、手伝おうから。」と言った喜美世さんに対して、「ぼくが全部やるから。」と断ったことを、和威さんが後悔しているのは、なぜだろう。 【中心発問】本当の思いやりには、どのようなことが大切だろう。	P88-91	

11	家族の思いにふれて	D・(22)	靴	外靴の紛失で親に心配をかけまいとする主人公と、どんなことがあっても主人公の味方として支えようとする親の姿を通して、家族の深い愛情に気づくとともに、家族の一員として果たすべき役割や責任を理解し、より充実した家庭生活を築こうとする意欲や態度を育てる。	【基本発問1】自分がタマゴマンだったら、お父さんに上履きで帰ってきたことを聞かれたときにどのように答えるだろう。 【基本発問2】あなたが家族の思いを感じたのはどのようなときだろう。それはどのような思いだろう 【基本発問3】あなたは家族の一員として、どう行動しようと思うか。 【基本発問4】「タマゴマン、どんなことがあっても、お父さんとお母さんはおまえの味方だぞ。」という言葉に、お父さんはどのような思いをこめたのだろう。また、タマゴマンはその言葉を聞いてどう思っただろう。	P93-98
	クラスの生活をよくするために	C・(11)	席替え	主人公が席替えのやり直しを提案した理由について話し合い、公正さを重んじることの大切さを理解し公正、公平な行動を心がけようとする意欲を育てる。	【基本発問1】この話はどのような話だろう。 【基本発問2】「私」が席替えのやり直しの提案を迷ったのはなぜだろう。 【基本発問3】席を替えてもみんなの都合がよければいいのではないのか。 【中心発問】「私」が、再度席替えを提案したのは、どのような理由からだろう。	P100-103
12	クラスの生活をよくするために	C・(11)	くじ引きの後の場面をやってみよう	くじ引きの場面の役割演技を通して、公正な判断のもとに主体的に行動しようとする意欲や態度を育てる。	【基本発問1】「席替え」では、くじ引きの後、クラスのかかりの人たちが勝手に席を決め直したが、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下の吹き出しに書こう。 【基本発問2】4人組になって、「私」役、「並んで座りたかった二人」役1、2、「しかたなく席をゆずった人」役と、役割を決めよう。 【基本発問3】「並んで座りたかった二人」役1が、「しかたなく席をゆずった人」に対して、「席をかわってくれない？」と言うところからスタートして、役を交替しながら全員が全ての役を演じよう。	P104-105
	心の弱さを乗り越えるために	D・(22)	銀色のシャープペンシル	心の弱さと良心の間で葛藤する主人公に自分を重ね、弱さを乗り越えて人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。	【基本発問1】卓也のロッカーにシャープペンシルを返したとき、「ぼく」はどのような気持ちだったか。 【基本発問2】なぜ卓也の家へ向かって歩きだしたのか。 【基本発問3】心の弱さを乗り越えるためには、どのようなことが必要だろう。 【中心発問】「これは前に自分で買ったんだぞ。」と言ったときの「ぼく」は、どのような気持ちだっただろう。	P106-110
1	挑戦し続けること	A・(4)	風を感じて一村上清加のチャレンジ	困難に直面しても、目標の達成に向けて前向きに挑戦し続ける村上清加選手の生き方について考えることを通して、目標に向けて強い意志を持ち、前向きに努力しようとする心情を育てる。	【基本発問1】大事故にあった村上さんはどのような不安や苦しみに直面したのだろう。 【基本発問2】村上さんの生き方から学んだことはどのようなことだろう。 【中心発問】陸上経験のなかった村上さんが、レースにチャレンジし続けているのはなぜだろう。	P111-114
	新しいものを生み出すときに	A・(5)	「どうせ無理」という言葉に負けない	植松努さんのロケット開発にかける思いを考えることを通して、自分の可能性を追求し、真理を探究し続けようとする意欲を育てる。	【基本発問1】作者の思いや考えの中でいちばん印象的だったことや共感したこと何か。また、それはなぜか。 【基本発問2】植松さんから初めてロケット作りの話を聞いたとき、会社のメンバーがきょとんとしたのはなぜだろう。 【基本発問3】新しいものを生み出すときには、どのようなことが必要だろう。 【中心発問】会社のメンバーがロケットを作ろうとしたのは、どのようなことに気づいたからだろう	P116-119
1	情報モラルと友情	B・(8)	短文投稿サイトに友達への悪口を書くこと	悩みや葛藤をともに乗り越え、友情を深めていくことの大切さに気づき、互いに励まし合い、心から信頼しようとする心情を育てる。	【基本発問1】コウタは(たいへん)なことになるぞ。」と思ったのに、どうして「うん、そうだね。」と言ってしまったのか。 【基本発問2】ネットに投稿するときに気をつけなければいけないことには、どういうことがあるだろう。 【基本発問3】信頼できる友達になるためには、どういうことが必要だろう。 【中心発問】コウタが、翌日あわててイチロウに電話をしたのは、どうしてだろう。	P120-123
	世界の人々とつながる	C・(18)	山岳民族の文化を守る	国際社会の一員としての日本人の自覚を持ち、他国の文化や伝統を尊重し、世界平和や人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	【基本発問1】山下さんについてどのような印象を持っただろう。 【基本発問2】担い手を失って伝統文化が消失してしまうことについて、山下さんはどのような思いを持っているだろう。 【基本発問3】他国の人々のために何かをしようとするとき、あなたが大切にしたいことはどのようなことだろう 【中心発問】山下さんは、どのような思いから、カリンガ族の人々と関わり、カリンガ族と世界をつなげようとしているのだろう。	P124-127
2	公共の精神とは	C・(12)	本が泣いています	主人公の悩みをもとに、図書館がかかえる問題を話し合う中で、公共の精神についての理解を深め、よりよい社会の実現に努めようとする意欲を育てる。	【基本発問1】「本を守るための図書館側の取り組み」をどう思うか。図書館の職員と利用者の立場から考えよう。 【基本発問2】「本が泣いています」というメッセージには、岩井さんのどのような願いが込められているか。 【基本発問3】公共のものや場所を利用するとき、どのようなことを心がけるべきだろう。 【中心発問】制約なく自由に利用できる図書館にするためには、利用者にはどのようにすることが大切だろう。	P128-131
	自然の力と向き合って	D・(21)	火の島	作者の感動的な体験や火山噴火の写真から、自然の偉大さに感動し、人間の力を超えた自然の力への畏敬の念を深めようとする心情を育てる。	【基本発問1】教材中の写真を見て、どのように感じたか。 【基本発問2】古代ハワイアンがキラウエア火山に女神が住むと信じていたことを、作者が不思議に感じたのはどうしてだろう。 【基本発問3】「武者震いが止まらない」のはどうしてだろう。 【中心発問】作者が、「絶対に忘れられない感動的な一日になった。」と言うのは、どうしてだろう。	P132-137
3	人の気持ちが分かる人間を目指して	B・(9)	落語が教えてくれること	人にはいろいろな見方や考え方が存在することを理解し、それぞれの個性や立場を尊重しようとする心情を育てる。	【基本発問1】一文無しと分かっているのに宿らたき出すことができないのはなぜだろう。 【基本発問2】日常の中で相手の気持ちを「想像」するとき、どのようなことを心がけることが必要だろう 【中心発問】甚五郎に「おまえさんのような心から優しい人に出会ったのは初めてだ。」と言われた金兵衛さんは、どのようなことを感じただろう。	P138-141
	生きることのすばらしさを感じて	D・(22)	花に寄せて	絶望からはい上がり絵を描き続ける主人公の生き方に共感し、困難や障がい乗り越え、人間としての誇りを持って、よりよく生きていこうとする態度を育てる。	【基本発問1】最も深い感銘を受けたところはどこか。 【基本発問2】星野さんが絶望からはい上がり、展覧会を開くまで頑張ったのはなぜだろう。 【基本発問3】星野さんは女子大生や付きそいの女性たち、石田さんの言葉をどういう気持ちで聞いていただろう。 【中心発問】星野さんの作品が人々に感動をあたえるのは、なぜだろう。	P142-147
3	自然とのつながりを考えよう	D・(20)	桜に集う人の思い	復興を願って桜や梅を植樹する人々の思いを感じ取り、自然環境を大切にしようとする心情を深め、進んで自然の愛護に努める態度を育てる。	【基本発問1】私たちが自然とのつながりを感じるには、どのようなときだろう。 【中心発問】東日本大震災の被災地の復興を願って、桜や梅が植樹されたのは、人々のどのような思いからだろう。	P150-153
	日本の伝統と文化にふれて	C・(17)	古都の雅、菓子心の心	悩みながらも京菓子を作り続ける富蔵さんの生き方について話し合い、優れた伝統や文化を育んできた先人たちの努力や精神を理解し、それを継承し発展させていこうとする心情を育てる。	【基本発問1】「自分でやったら、分かるさかいに。」と言った父が伝えたかったこととは何だろう。 【基本発問2】富蔵さんが受け継いだ菓子の心は何だろう。 【基本発問3】優れた日本の伝統や文化で、守り伝えていかねばならないものには、どのようなものがあるだろう。 【中心発問】富蔵さんの作る菓子が父のものと比較されなくなったのは、なぜだろう。 【基本発問4】「私」の郷土への負のイメージを、大切に思う気持ちへと転換させたものは何だろう。	P154-158
1	心に郷土を刻もう	C・(16)	郷土のことを考える	郷土の発展を支える、人物や伝統・文化、技術や産業などを大切にすることの心情を育てる。	【基本発問1】「私」の郷土への負のイメージを、大切に思う気持ちへと転換させたものは何だろう。 【基本発問2】郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときだろう。 【中心発問】郷土の発展を支えていくためには、どのようなことを大切にすればいいだろう。	P182-183